

少年と運転手

登場人物

医師

母

父

看護師

缶ジュースを買う男

少年

ペッパー

タクシーの運転手

1

医師「いつき君の術後の経過ですが、かなり厳しい状況です」

母「そうですか」

医師「我々医師団としましては、正直、申し上げて完治することは、恐らくないと考えています」

母「え」

医師「はい」

父「いつきは、どれくらい生きられるんですか？」

医師「いえ、その点については、断言できないんです」

父「そんな無責任なこと、言わないでくださいよ。医者でしょ、専門家でしょ」

医師「ええ。でも、あの、常に予断の許さない状況とお考えください」

父「いつ死んでもおかしくないってことですか」

医師「それは、申し上げることできないんですよ。申し訳ありませんが」

父「いや、だってほとんどそう言ってるようなもんじゃない」

医師「すみません」

父「すみませんじゃないでしょ」

医師「いや、すみません」

父「あんた、ふざけてるのか」

父「どっちなんですか？助からないんですか？助かるんですか？」

医師「…」

母「あなた。もういいわよ」

父「いや、だって」

母「この人、責めてもしょうがないじゃない」

看護師、医師の下へやってくる。

小声で話している。

看護師「いつき君が…」

医師「え」

看護師「部屋にいないんですよ…」

医師「そう」

医師「(父母に) あの、いつき君が部屋からいなくなったみたいです」

母「え」

医師「じゃあ、僕はこれで」

看護師「えー」

医師、出ていく。父母、看護師、いつきを探しに出ていく。

2

男、自動販売機の前。

千円札を入れ、ジュースを買う。

つり銭を取り忘れる。

車椅子の少年、自動販売機のつり銭の受け取り口に手を入れる。

少年、つり銭を持っていく。

少年「10、20、30、80、180、280、380、880、よし」

3

少年「ねえ、ペッパー」

ペッパー「はい」

ペッパー「なにかご用ですか？」

少年「うん」

ペッパー「へへ、何でも聞いてください」

少年「えーと、じゃあ、川に行きたい」

ペッパー「はい、こちらが見つかりました」

少年、ペッパーの情報を見る。

少年「なんて読むの？」

ペッパー「あぶくまがわです」

少年「へえ、あぶくまがわ、ね」

ペッパー「はい」

少年「じゃあ。あぶくまがわの行き方」

ペッパー「阿武隈川の行き方をお調べしています」

ペッパー「ここから約 900m、車で約 10 分です」

少年「タクシーで行ったら何円かかる？」

ペッパー「福島のタクシーの初乗りは、510 円です」

少年「初乗り？」

ペッパー「最初にかかる料金です」

少年「へえ」

少年「じゃあ、あぶくまがわまで、510 円で行ける」

ペッパー「はい」

少年「(お金を確かめて) よし」

少年「ペッパー、偉いね」

ペッパー「そんなことはないですよ」

少年「えーと、ペッパー、ありがとう」

ペッパー「どういたしまして」

少年「行ってくるね」

ペッパー「はい、お気をつけて」

少年、出ていく。

少年「(唱えるように) あぶくま、あぶくま、あぶくま…」

4 病院

看護師、父、母、おのおの名前を呼びながら探している。

少年、皆が過ぎていくのを見て、玄関を出てタクシー乗り場に。

タクシーの運転手、昼寝をしている。

少年、窓ガラスをコンコンとたたく。

タクシーの運転手、あわてて起き上がる。

運転手「一人？」

少年、うなづく。

少年「川に行きたいんです」

運転手「川？」

少年「えーと、くま、くま…」

運転手「…」

少年、思い出せない。

少年「とにかく、川に行きたいんです」

少年「お金もあります」

と、少年、小銭を見せる。

運転手、おもむろに降りて、少年を車椅子から車に乗せる。

運転手、車を走らせる。
と、途中でとまる。

運転手「ちょっと、待ってな」

運転手、ソフトクリームを買って、戻ってくる。

運転手「ほら」

少年「！」

運転手「ソフトクリーム、好きか？」

少年、うなづく。

しばらくして、阿武隈川の河川敷に着く。

運転手「着いたぞ」

運転手、少年を再び車椅子に乗せて、後ろから押す。
河川敷を下っていき、浅瀬につく。

運転手「中、入ってみるか？」

少年「泳げない」

運転手「足だけだよ」

運転手、靴と靴下を脱いで、ズボンをまくる。

運転手「冷たくて気持ちいいよ」

少年も靴と靴下を脱ぐ。

運転手、ゆっくりと川に近づける。

少年「パンクしちゃうよ」

運転手「立てるか？」

少年、首を振る。

運転手「よし」

運転手、少年をだっこする。
ゆっくり、川の流れのほうへ。

そして、ゆっくりと少年を降ろす。
少年、水の冷たさを感じる。

二人、何も言わず、ただ、じっとしている。